

# 障害者のスポーツに関する実態調査

東京都立夢の島総合体育館 佐藤 鉄太郎  
丸山 正広

## 1 調査の目的

本調査は東京都各区市町村の全教育委員会体育主管課を対象に、都内における障害者のスポーツに関する実態及び問題点を深り、今後の施策推進の資料を得ようとする意図で行った。

## 2 調査内容

今回の調査では障害者のスポーツ活動の所管、施設の整備状況・障害者を対象とした事業の実施の有無及び内容・障害者のスポーツ活動を援助するうえでの問題点と第一に行うべき施策、更に障害者のスポーツ活動の内容及び要求について調査を行った。

## 3 調査対象

東京都23区26市7町8村教育委員会体育主管課

## 4 調査票の回収率

今回の調査は東京23区26市7町8村全教育委員会に調査票を郵送し、調査サンプル計64教育委員会である。

有効回収数は区部17(73.9%)、市部17(65.4%)、町村部7(46.7%)計41教育委員会であり回収率は64.1%であった。

## 5 調査実施時期

昭和52年12月1日……調査票発送

昭和53年1月11日……調査票回収

## 6 調査結果

### 所管

	区部	市部	町村部	全都
1.教育委員会	3(17.6)	3(17.6)	2(28.6)	8(195)
2.福祉部		2(11.8)		2(49)
3.なし	2(11.8)			2(49)
4.明白でない	12(70.6)	12(70.6)	5(71.4)	29(70.7)
計	17(100)	17(100)	7(100)	41(100)

明白でない場合の関連行政部課名

	区部	市部	町村部	全都
1.教育委員会		1		1
2.福祉部	4	5		9
3.なし	2	1	3	6
4.教育委員会+福祉部	6	4		10
5.教育委員会+福祉部+公民館		1		1
6.総務課			1	1
7.福祉課+住民課			1	1
計	12	12	5	29

### 施設

#### (1) 整備状況

	区部	市部	町村部	全都
1.整備されている				
2.一部整備されている	7(41.2)	6(35.3)	1(14.3)	14(34.1)
3.整備されていない	10(58.8)	11(64.7)	6(85.7)	27(65.9)
計	17(100)	17(100)	7(100)	41(100)

#### 整備されている施設

表-4 (%)

	区部	市部	町村部	全都
1.専用駐車場				
2.スロープ	6(35.3)	6(35.3)	1(14.3)	13(31.7)
3.エレベーター	2(11.8)			2(4.9)
4.障害者用トイレ	6(35.3)	5(29.4)		11(26.8)
5.盲人用チャイム				
6.点字ブロック	1(5.9)			1(2.4)
7.専用更衣室	1(5.9)			1(2.4)
8.専用出入口	1(5.9)			1(2.4)
9.	n=17	n=17	n=7	n=41

障害者のスポーツに関する実態調査

(2) 利用状況

	区部	市部	町村部	全都
1.よく利用される	1(143)			1(71)
2.利用されている		1(167)		1(71)
3.時々利用される	3(429)	3(500)		6(429)
4.利用されていない	3(429)	2(333)	1(100)	6(429)
計	7(100)	6(100)	1(100)	14(100)

(3) 整備計画

	区部	市部	町村部	全都
1.計画している	6(353)	4(235)		10(244)
2.計画していない	11(647)	13(765)	7(100)	31(756)
計	17(100)	17(100)	7(100)	41(100)

整備計画のある施設

表-7

	区部	市部	町村部	全都
1.専用駐車場	2			2
2.スロープ	6	4		10
3.エレベーター	2	2		4
4.障害者用トイレ	5	3		8
5.盲人用チャイム	1			1
6.点字ブロック	1	1		1
7.専用更衣室	1			1
8.卓球室	1			1
9.プール(幼児兼用)	2			2

事業

(1) 障害者対象事業の実施の有無

	区部	市部	町村部	全都
1.過去に実施した	1(59)	2(118)		3(73)
2.現在実施している	2(118)	7(412)		9(220)
3.実施していない	14(823)	8(470)	7(100)	29(707)
計	17(100)	17(100)	7(100)	41(100)

実施事業の内容

表-9

	区部	市部	町村部	全都
1.障害(児)者運動会スポーツ大会	1	2		3
2.心身障害(児)者スポーツ教室	1			1
3.障害者ゲートボール教室		1		1
4.心身障害者水泳教室		2		2
5.障害者青年級学		1		1
6.心身障害者軽スポーツ大会		1		1
7.車いすバスケットボール大会		1		1
8.レクリエーション大会		1		1
9.身障者のトリム体操		1		1
10.地域市民プール開放(一般開放)		2		2
11.区民運動会	1			1

(2) 将来計画

	区部	市部	町村部	全都
1.計画している	1(59)	6(353)		7(171)
2.計画していない	16(941)	10(588)	6(857)	32(780)
3.無解答		1(59)	1(143)	2(49)
計	17(100)	17(100)	7(100)	41(100)

計画事業の内容

表-11

	区部	市部	町村部	全都
1.障害(児)者スポーツ大会		1		1
2.心身障害(児)者スポーツ教室	1			1
3.障害者スポーツ教室		2		2
4.障害者ゲートボール教室		1		1
5.車いすバスケットボール大会		1		1
6.レクリエーション大会		1		1
7.市民プール無料解放		1		1

スポーツ活動の内容

	区 部	市 部	町村部	全 都
1歩 走 技 群	2	3		5
2跳 技 群	1			1
3投 技 群	1	1		2
4卓 球	2	1		3
5弓 技	2			2
6車いす競技群		2		2
7車いす バスケットボール	2	2		4
8重 量 挙				
9水 泳 技 群		6		6
10障害者運動会	1	1		2
11野 球	2			2
12バドミントン	1			1
13レクリエーション		1		1
14トランポリン	1			1
15トリム体操		1		1
16ハイキング		1		1

スポーツ要求の内容

	区 部	市 部	町村部	全 都
1.水 泳	2	4		6
2.体育施設の 確保・提供	4	1		5
3.野 球 ソフトボール	1	3		4
4.車いす バスケットボール		3		3
5.卓 球	1	1		2
6.予算の増額	1	1		2
7.バドミントン		1		1
8.サイクリング		1		1
9.軽 スポーツ		1		1
10.レクリエーション		2		2
11.つ り		1		1
12.補助金の充実		1		1

活動を援助するうえで行うべき点

	区 部	市 部	町村部	全 都
1.施設の整備 改善	12	9		21
2.指導者の確保 養成	8	6	1	15
3.障害者の実態 把握・意向調査	4	5		9
4.機会の提供 (スポーツ教室等)	1	3		4
5.予算の確保 充 実	2	1		3
6.障害者の自主 グループ育成	1	1		2
7.関連行政との 連 携	1	1		2
8.P . R . 活動		2		2
9.安全性と輸送 機関の確保		1	2	3
10.障害者スポーツ の理解を深める	1			1
11医師の確保	1			1
12.メディカル チェックの充実		1		1
13.大会等の共催 後 援		1		1
14.自主活動の金 銭援助(減免 ・補助金等)		1		1
15.援助態勢の確立 (人的・物的)		1		1
16.綿密な計画		1		1
17.参加しやすい ムードづくり			1	1
18.障害者の厚生 環境を考慮する			1	1
19.有効機器の 導 入			1	1
20.地域の特性 を考慮する			1	1

7 考 察

所管においては、区市町村とも70パーセント以上が明白でない。しかし、関連行政は教育委員会か福祉部が大部分である。

施設は、完全に整備されているところはなく、全都で65.9パーセントが整備されていない。一部整備されている施設はスロープ・障害者用トイレが多い。しかし、専用駐車場はゼロである。また、一部整備されている施設も利用されているものは少なく、時々利用されるか、またはほとんど利用されていない状態である。今後、施設整備を区部35.3パーセント・市部23.5パーセントが計画しているが、内容はやはり、スロープ・障害者用トイレが多い。

障害者を対象とした事業は、市部では過去・現在で53パーセントが実施しているが、区部では82.3パーセント・町村部では100パーセントが実施していない。将来の事業計画でも市部で35.3パーセント・区部で5.9パーセントが計画しているだけである。

スポーツ活動の内容は、水泳・車いすバスケットボール等が多く、障害者の要求は、水泳、施設の確保・提供等が多い。

障害者のスポーツ活動を援助するうえで行うべき点としては、施設の整備・改善、指導者の確保・養成、障害者の実態把握等の意見が多い。

以上の調査結果より、障害者のスポーツ活動を援助するうえで、施設を整備・改善すべきであることは言うまでもないが、特に、車いす利用者の交通手段は自動車である点を考慮し、駐車場をまず第一に整備すべきである。

また、施設の利用状況からも明らかなように、施設が整備されているところでは障害者が団体のみならず個人でも利用できるような機会を設けることも必要である。

8 ま と め

当面の課題としては、地域の障害者の実態を早急に把握し、今後の施策を考えるべきであるとともに、関連行政・機関との連絡を密にし、障害者のスポーツ活動を援助すべきである。

追 記

今回の調査結果は、各区市町村ともはっきり障

害者の実態が把握できておらず、解答者自身の見解が含まれている点がある。